平成 29 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　奈良県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
-	五條病院	2
奈良市	市立奈良病院	3
大和高田市	大和高田市立病院	4
生駒市	生駒市立病院	5
宇陀市	宇陀市立病院	6
大淀町	大淀病院	7
国保中央病院組合	国保中央病院	8
南和広域医療企業団	南奈良総合医療センター	9
南和広域医療企業団	吉野病院	10
南和広域医療企業団	五條病院	11

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	奈良県
市町村・組合名	
病院名	五條病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	57.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	57.0
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	17.4

設立団体の状況

人口 (人)		1,364,316
決算規模 (千円)		492,304,509
標準財政規模 (千円)		320,981,031
財政力指数		0.42603
経常収支比率 (%)		94.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.5
	将来負担比率 (%)	157.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	11,197
資本勘定繰入	-	157,345
計	-	168,542

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,197			
1 経常収益	11,197			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	11,197			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	11,197			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,197			
2 経常費用	11,197			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	59.8
② 材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
③ 減価償却費	-	-	9.2	10.4
④ 経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	11,197			
(うち支払利息)	11,197	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	96.3
医業収支比率	-		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	-		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	奈良県
市町村・組合名	奈良市
病院名	市立奈良病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	29,064 ㎡	指定病院の状況	救臨が感へ災　輪
診療科数	28	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	349	81.0	80.9	79.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	1	0.3	-	-
計	350	80.7	80.7	79.3
平均在院日数（一般病床のみ）		10.6	10.7	10.4

設立団体の状況

人口 (人)		360,310
決算規模 (千円)		124,876,579
標準財政規模 (千円)		75,318,185
財政力指数		0.77
経常収支比率 (%)		100.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	161.1

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	485,778	498,732
資本勘定繰入	20,039	14,606
計	505,817	513,338

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	2521.0
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	685,579			
1 経常収益	685,540			
(1) 医業収益	48,031			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	48,031			
(うち他会計負担金)	48,031			
(2) 医業外収益	637,509			
(うち国・都道府県補助金)	45,105			
(うち他会計補助・負担金)	450,701			
(うち長期前受金戻入)	80,462			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	39			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	873,858			
2 経常費用	873,146			
(1) 医業費用	737,494			
① 職員給与費	23,794	49.5	55.9	56.9
② 材料費	-	-	24.0	24.2
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.7
③ 減価償却費	267,727	557.4	9.2	9.5
④ 経費	445,973	928.5	23.2	21.8
(うち委託料)	441,914	920.1	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	135,652			
(うち支払利息)	10,794	22.5	1.7	1.8
(3) 特別損失	712			
損益 経常損益	-187,606			
損益 純損益	-188,279			
累積欠損金	1,210,881			
経常収支比率	78.5		98.0	96.3
医業収支比率	6.5		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	72.8		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	1038.4		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	72.7		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	21.4		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	7,903,808
1 固定資産	7,484,348
(1) 有形固定資産	7,482,209
(2) 無形固定資産	2,139
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	419,460
(1) 現金及び預金	385,509
(2) 未収金及び未収収益	40,117
(3) 貸倒引当金 (△)	6,166
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,885,547
1 固定負債	4,345,572
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,344,994
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	578
2 流動負債	203,219
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	111,315
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	1,733
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	76,730
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,336,756
(1) 長期前受金	2,771,510
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	434,754
資本合計	1,018,261
1 資本金	1,353
2 剰余金	1,016,908
(1) 資本剰余金	2,227,789
(2) 利益剰余金	-1,210,881
負債・資本合計	7,903,808
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	奈良県
市町村・組合名	大和高田市
病院名	大和高田市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	24,416 ㎡	指定病院の状況	救臨　災
診療科数	23	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	320	79.4	81.4	75.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	79.4	81.4	75.0
平均在院日数（一般病床のみ）		13.4	13.3	14.5

設立団体の状況

人口 (人)		64,817
決算規模 (千円)		24,009,545
標準財政規模 (千円)		14,693,380
財政力指数		0.48
経常収支比率 (%)		96.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	9.7
	将来負担比率 (%)	52.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	99.3
修正医業収支金額 (千円)	6,897,011

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	450,686	364,500
資本勘定繰入	391,805	220,000
計	842,491	584,500

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	9.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,401,185			
1 経常収益	7,401,014			
(1) 医業収益	7,027,011			
① 入院収益	4,358,279			
② 外来収益	2,303,588			
診療収入計	6,661,867			
③ その他医業収益	365,144			
(うち他会計負担金)	130,000			
(2) 医業外収益	374,003			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	234,500			
(うち長期前受金戻入)	15,690			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	171			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,400,908			
2 経常費用	7,357,289			
(1) 医業費用	6,947,066			
① 職員給与費	4,074,174	58.0	55.9	56.9
② 材料費	1,294,718	18.4	24.0	24.2
(うち薬品費)	647,521	9.2	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	603,263	8.6	11.1	11.7
③ 減価償却費	443,293	6.3	9.2	9.5
④ 経費	1,109,934	15.8	23.2	21.8
(うち委託料)	679,189	9.7	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	18,430			
⑥ 資産減耗費	6,517			
(2) 医業外費用	410,223			
(うち支払利息)	77,479	1.1	1.7	1.8
(3) 特別損失	43,619			
損益 経常損益	43,725			
損益 純損益	277			
累積欠損金	639,700			
経常収支比率	100.6		98.0	96.3
医業収支比率	101.2		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	5.2		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	4.9		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	95.6		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	7,182,883
1 固定資産	5,309,757
(1) 有形固定資産	5,231,978
(2) 無形固定資産	1,823
(3) 投資その他の資産	75,956
2 流動資産	1,873,126
(1) 現金及び預金	722,053
(2) 未収金及び未収収益	1,134,972
(3) 貸倒引当金 (△)	6,026
(4) 貯蔵品	22,126
3 繰延資産	-
負債合計	7,081,316
1 固定負債	5,416,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,794,093
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,620,040
(7) リース債務	2,263
2 流動負債	1,291,710
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	608,852
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	244,040
(6) リース債務	5,007
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	423,377
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	373,210
(1) 長期前受金	612,220
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	239,010
資本合計	101,567
1 資本金	521,267
2 剰余金	-419,700
(1) 資本剰余金	220,000
(2) 利益剰余金	-639,700
負債・資本合計	7,182,883
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	奈良県
市町村・組合名	生駒市
病院名	生駒市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	28,094 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	16	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	210	68.6	63.5	27.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	210	68.6	63.5	27.6
平均在院日数（一般病床のみ）		18.1	19.9	12.8

設立団体の状況		
人口 (人)		118,233
決算規模 (千円)		35,692,660
標準財政規模 (千円)		22,526,953
財政力指数		0.82
経常収支比率 (%)		91.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	1.3
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	2.5
修正医業収支金額 (千円)	11,698

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	268,456			
1 経常収益	268,456			
(1) 医業収益	64,707			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	64,707			
(うち他会計負担金)	53,009			
(2) 医業外収益	203,749			
(うち国・都道府県補助金)	315			
(うち他会計補助・負担金)	106,545			
(うち長期前受金戻入)	96,888			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	493,000			
2 経常費用	493,000			
(1) 医業費用	471,055			
① 職員給与費	17,247	26.7	55.9	59.2
② 材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
③ 減価償却費	384,901	594.8	9.2	10.4
④ 経費	68,907	106.5	23.2	27.3
(うち委託料)	12,464	19.3	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	21,945			
(うち支払利息)	21,395	33.1	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-224,544			
損益 純損益	-224,544			
累積欠損金	1,006,815			
経常収支比率	54.5		98.0	96.1
医業収支比率	13.7		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	59.4		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	246.6		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	59.4		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	22.1		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円・%)

区分	決算額
資産合計	7,577,690
1 固定資産	7,445,140
(1) 有形固定資産	7,435,353
(2) 無形固定資産	9,787
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	132,550
(1) 現金及び預金	127,501
(2) 未収金及び未収収益	5,049
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	8,384,505
1 固定負債	7,080,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,556,613
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,372,324
(5) その他の長期借入金	151,490
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	990,512
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	982,387
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,438
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,487
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	313,566
(1) 長期前受金	584,021
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	270,455
資本合計	-806,815
1 資本金	200,000
2 剰余金	-1,006,815
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,006,815
負債・資本合計	7,577,690
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	806,815
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	493,249
備考	

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	70,459	159,554
資本勘定繰入	491,193	242,493
計	561,652	402,047

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	1556.0
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	奈良県
市町村・組合名	宇陀市
病院名	宇陀市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	32,498 ㎡	指定病院の状況	救臨　輪
診療科数	16	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	176	76.5	73.2	75.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	176	76.5	73.2	75.5
平均在院日数（一般病床のみ）		23.3	22.7	22.7

設立団体の状況

人口 (人)		31,105
決算規模 (千円)		18,536,076
標準財政規模 (千円)		11,250,525
財政力指数		0.30
経常収支比率 (%)		99.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	14.7
	将来負担比率 (%)	118.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	87.7
修正医業収支金額 (千円)	2,910,761

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	330,495	329,487
資本勘定繰入	125,820	102,587
計	456,315	432,074

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	92.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,391,450			
1 経常収益	3,391,450			
(1) 医業収益	2,961,011			
① 入院収益	1,863,898			
② 外来収益	941,792			
診療収入計	2,805,690			
③ その他医業収益	155,321			
(うち他会計負担金)	50,250			
(2) 医業外収益	430,439			
(うち国・都道府県補助金)	1,158			
(うち他会計補助・負担金)	279,237			
(うち長期前受金戻入)	32,705			
(うち資本費繰入収益)	95,087			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,448,899			
2 経常費用	3,448,893			
(1) 医業費用	3,317,421			
① 職員給与費	1,865,774	63.0	55.9	59.8
② 材料費	491,366	16.6	24.0	17.7
(うち薬品費)	185,347	6.3	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	305,988	10.3	11.1	8.0
③ 減価償却費	320,750	10.8	9.2	10.4
④ 経費	631,775	21.3	23.2	31.2
(うち委託料)	330,121	11.1	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	7,370			
⑥ 資産減耗費	386			
(2) 医業外費用	131,472			
(うち支払利息)	45,085	1.5	1.7	1.8
(3) 特別損失	6			
損益 経常損益	-57,443			
損益 純損益	-57,449			
累積欠損金	2,750,111			
経常収支比率	98.3		98.0	96.3
医業収支比率	89.3		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	9.7		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	88.8		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	5,210,751
1 固定資産	4,165,471
(1) 有形固定資産	4,115,512
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	49,959
2 流動資産	1,045,280
(1) 現金及び預金	568,850
(2) 未収金及び未収収益	474,254
(3) 貸倒引当金 (△)	400
(4) 貯蔵品	2,576
3 繰延資産	-
負債合計	4,183,253
1 固定負債	3,145,563
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,820,563
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	325,000
(7) リース債務	-
2 流動負債	581,967
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	161,270
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	126,880
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	288,588
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	455,723
(1) 長期前受金	704,103
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	248,380
資本合計	1,027,498
1 資本金	3,483,927
2 剰余金	-2,456,429
(1) 資本剰余金	293,682
(2) 利益剰余金	-2,750,111
負債・資本合計	5,210,751
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	奈良県
市町村・組合名	大淀町
病院名	大淀病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	31.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	31.2
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	17.0

設立団体の状況		
人口 (人)		18,069
決算規模 (千円)		7,507,138
標準財政規模 (千円)		4,747,965
財政力指数		0.45
経常収支比率 (%)		99.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	7.7
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	5,496	8,283
資本勘定繰入	48,547	79,492
計	54,043	87,775

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,283			
1 経常収益	8,283			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	8,283			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	8,283			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,283			
2 経常費用	8,283			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	59.2
② 材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
③ 減価償却費	-	-	9.2	10.4
④ 経費	-	-	23.2	27.3
(うち委託料)	-	-	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	8,283			
(うち支払利息)	8,283	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	96.1
医業収支比率	-		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	-		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	奈良県
市町村・組合名	国保中央病院組合
病院名	国保中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,249 ㎡	指定病院の状況	救臨　輪
診療科数	11	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	220	68.2	67.0	70.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	68.2	67.0	70.4
平均在院日数（一般病床のみ）		11.5	11.0	11.7

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	97.1
修正医業収支金額 (千円)	3,049,718

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,469,417			
1 経常収益	3,469,417			
(1) 医業収益	3,130,481			
① 入院収益	2,175,878			
② 外来収益	735,602			
診療収入計	2,911,480			
③ その他医業収益	219,001			
(うち他会計負担金)	80,763			
(2) 医業外収益	338,936			
(うち国・都道府県補助金)	12,818			
(うち他会計補助・負担金)	240,085			
(うち長期前受金戻入)	66,216			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,291,353			
2 経常費用	3,291,229			
(1) 医業費用	3,142,250			
① 職員給与費	1,987,391	63.5	55.9	59.2
② 材料費	430,126	13.7	24.0	19.6
(うち薬品費)	210,697	6.7	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	192,342	6.1	11.1	9.2
③ 減価償却費	225,361	7.2	9.2	10.4
④ 経費	490,821	15.7	23.2	27.3
(うち委託料)	263,528	8.4	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	7,741			
⑥ 資産減耗費	810			
(2) 医業外費用	148,979			
(うち支払利息)	54,294	1.7	1.7	1.8
(3) 特別損失	124			
損益 経常損益	178,188			
損益 純損益	178,064			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.4		98.0	96.1
医業収支比率	99.6		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	10.2		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	95.7		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	5,465,167
1 固定資産	3,183,185
(1) 有形固定資産	3,164,860
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	18,325
2 流動資産	2,281,982
(1) 現金及び預金	1,789,575
(2) 未収金及び未収収益	493,958
(3) 貸倒引当金 (△)	1,551
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,390,825
1 固定負債	2,123,747
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,298,041
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	825,706
(7) リース債務	-
2 流動負債	640,654
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	320,213
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	161,175
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	134,227
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	626,424
(1) 長期前受金	913,101
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	286,677
資本合計	2,074,342
1 資本金	852,404
2 剰余金	1,221,938
(1) 資本剰余金	476,722
(2) 利益剰余金	745,216
負債・資本合計	5,465,167
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	347,261	320,848
資本勘定繰入	204,545	102,281
計	551,806	423,129

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	奈良県
市町村・組合名	南和広域医療企業団
病院名	南奈良総合医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,396 ㎡	指定病院の状況	救　感へ災　輪
診療科数	25	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	228	96.2	89.8	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	39.0	29.6	-
計	232	95.2	88.8	-
平均在院日数（一般病床のみ）		14.0	14.2	-

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	79.8
修正医業収支金額 (千円)	5,575,060

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	671,317	487,003
資本勘定繰入	185,612	322,066
計	856,929	809,069

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	279,019	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	14.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,279,944			
1 経常収益	7,279,944			
(1) 医業収益	5,817,060			
① 入院収益	3,723,142			
② 外来収益	1,597,013			
診療収入計	5,320,155			
③ その他医業収益	496,905			
(うち他会計負担金)	242,000			
(2) 医業外収益	1,462,884			
(うち国・都道府県補助金)	97,100			
(うち他会計補助・負担金)	245,003			
(うち長期前受金戻入)	1,050,773			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,366,816			
2 経常費用	7,362,495			
(1) 医業費用	6,988,820			
① 職員給与費	3,322,827	57.1	55.9	59.2
② 材料費	1,115,337	19.2	24.0	19.6
(うち薬品費)	414,900	7.1	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	700,366	12.0	11.1	9.2
③ 減価償却費	1,056,441	18.2	9.2	10.4
④ 経費	1,481,960	25.5	23.2	27.3
(うち委託料)	934,169	16.1	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	12,255			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	373,675			
(うち支払利息)	29,547	0.5	1.7	1.8
(3) 特別損失	4,321			
損益 経常損益	-82,551			
損益 純損益	-86,872			
累積欠損金	784,301			
経常収支比率	98.9		98.0	96.1
医業収支比率	83.2		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	6.7		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	92.3		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	19,104,186
1 固定資産	16,139,116
(1) 有形固定資産	15,638,742
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	500,374
2 流動資産	2,965,070
(1) 現金及び預金	1,796,465
(2) 未収金及び未収収益	1,113,138
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	54,609
3 繰延資産	-
負債合計	17,906,877
1 固定負債	7,481,550
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,060,698
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	537,722
(6) 引当金	883,130
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,561,196
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	585,936
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	249,466
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	697,268
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	8,864,131
(1) 長期前受金	11,202,638
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	2,338,507
資本合計	1,197,309
1 資本金	1,000,000
2 剰余金	197,309
(1) 資本剰余金	1,227,734
(2) 利益剰余金	-1,030,425
負債・資本合計	19,104,186
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	奈良県
市町村・組合名	南和広域医療企業団
病院名	吉野病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	6,843 ㎡	指定病院の状況	
診療科数	2	看護配置	１３：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	50	81.5	69.3	-
療養	46	91.7	77.6	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	96	86.4	73.3	-
平均在院日数（一般病床のみ）		19.1	23.5	-

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	93.7
修正医業収支金額 (千円)	1,015,876

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	87,013	146,746
資本勘定繰入	-	-
計	87,013	146,746

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	14.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,228,573			
1 経常収益	1,228,573			
(1) 医業収益	1,088,356			
① 入院収益	634,319			
② 外来収益	338,459			
診療収入計	972,778			
③ その他医業収益	115,578			
(うち他会計負担金)	72,480			
(2) 医業外収益	140,217			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	74,266			
(うち長期前受金戻入)	60,560			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,113,854			
2 経常費用	1,113,854			
(1) 医業費用	1,084,721			
① 職員給与費	564,934	51.9	55.9	69.4
② 材料費	196,484	18.1	24.0	17.1
(うち薬品費)	159,071	14.6	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,371	3.4	11.1	5.8
③ 減価償却費	111,635	10.3	9.2	11.6
④ 経費	211,338	19.4	23.2	31.2
(うち委託料)	139,192	12.8	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	330			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	29,133			
(うち支払利息)	-	-	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	114,719			
損益 純損益	114,719			
累積欠損金	-			
経常収支比率	110.3		98.0	98.0
医業収支比率	100.3		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	11.9		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	97.1		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	19,104,186
1 固定資産	16,139,116
(1) 有形固定資産	15,638,742
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	500,374
2 流動資産	2,965,070
(1) 現金及び預金	1,796,465
(2) 未収金及び未収収益	1,113,138
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	54,609
3 繰延資産	-
負債合計	17,906,877
1 固定負債	7,481,550
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,060,698
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	537,722
(6) 引当金	883,130
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,561,196
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	585,936
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	249,466
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	697,268
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	8,864,131
(1) 長期前受金	11,202,638
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	2,338,507
資本合計	1,197,309
1 資本金	1,000,000
2 剰余金	197,309
(1) 資本剰余金	1,227,734
(2) 利益剰余金	-1,030,425
負債・資本合計	19,104,186
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	奈良県
市町村・組合名	南和広域医療企業団
病院名	五條病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	10,366 ㎡	指定病院の状況	
診療科数	2	看護配置	１３：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	45	79.9	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	79.9	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		31.7	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	44.5
修正医業収支金額 (千円)	317,041

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	37,842	38,684
資本勘定繰入	176,079	143,103
計	213,921	181,787

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	14.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	425,904			
1 経常収益	425,904			
(1) 医業収益	324,141			
① 入院収益	226,821			
② 外来収益	63,926			
診療収入計	290,747			
③ その他医業収益	33,394			
(うち他会計負担金)	7,100			
(2) 医業外収益	101,763			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	31,584			
(うち長期前受金戻入)	68,908			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	726,722			
2 経常費用	726,700			
(1) 医業費用	712,166			
① 職員給与費	299,668	92.4	55.9	79.3
② 材料費	55,538	17.1	24.0	16.1
(うち薬品費)	23,620	7.3	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,910	9.8	11.1	5.0
③ 減価償却費	213,065	65.7	9.2	13.7
④ 経費	143,738	44.3	23.2	42.9
(うち委託料)	89,241	27.5	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	157			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	14,534			
(うち支払利息)	-	-	1.7	1.5
(3) 特別損失	22			
損益 経常損益	-300,796			
損益 純損益	-300,818			
累積欠損金	300,818			
経常収支比率	58.6		98.0	95.6
医業収支比率	45.5		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	11.9		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	9.1		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	53.3		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	19,104,186
1 固定資産	16,139,116
(1) 有形固定資産	15,638,742
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	500,374
2 流動資産	2,965,070
(1) 現金及び預金	1,796,465
(2) 未収金及び未収収益	1,113,138
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	54,609
3 繰延資産	-
負債合計	17,906,877
1 固定負債	7,481,550
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,060,698
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	537,722
(6) 引当金	883,130
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,561,196
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	585,936
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	249,466
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	697,268
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	8,864,131
(1) 長期前受金	11,202,638
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	2,338,507
資本合計	1,197,309
1 資本金	1,000,000
2 剰余金	197,309
(1) 資本剰余金	1,227,734
(2) 利益剰余金	-1,030,425
負債・資本合計	19,104,186
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。